

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 8月 8日

議 会 議 長 様

議席番号 1 番

議員氏名 太 田 康 之

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 南側水路整備 手法の今後は	<p>令和7年6月3日の全員協議会にて「南側水路整備手法検討業務の検討結果について」の説明がありました。</p> <p>南側水路沿いの住民は、悪臭、蚊の発生、雑草など長年我慢をしていますので、早期の整備を要望します。</p> <p>しかし、気になる点が1つあります。「多自然型整備」についてです。他の区間がコンクリートで整備する計画であるのに、西地区の一部では、木柵で整備をし、水路の上に50cm幅の木道を作る計画となっています。</p> <p>どのような検討により、このような計画に至ったのか、この木での整備について、以下お尋ねします。</p> <p>(1) 木での整備となった経緯及び目的は。</p> <p>(2) 人通りが少ない場所だが、今、1日何人くらい通るのか。完成後はどの様な人が何人くらい来る予想・目標なのか。</p> <p>(3) コンクリートでの整備と木での整備について、設置費用、耐久年度の比較や差額は。</p> <p>(4) 多自然型は、草の繁茂や、水草が繁殖しやすいようになっていると考えるが、整備後は誰が維持管理等の作業を行うのか。</p> <p>(5) 南地区は住民の要望により全区間コンクリート暗渠である。西地区は住民の要望を確認したうえでの計画なのか。</p> <p>(6) 自然とのふれあいの場の創出を目指すとするが、水で遊べるような水質なのか。</p>	<p>町長</p> <p>副町長</p> <p>都市施設整備課長 担当課長</p>

8月 8日 午前・午後 9時35分 受理